



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月3日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三栄コーポレーション
コード番号 8119 URL <https://www.sanyeicorp.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水越 雅己
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 小平 敏之 TEL 03-3847-3500
四半期報告書提出予定日 2023年2月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	28,699	18.0	△127	—	△88	—	△172	—
2022年3月期第3四半期	24,321	2.9	△680	—	△495	—	△649	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 386百万円 (—%) 2022年3月期第3四半期 △929百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△72.31	—
2022年3月期第3四半期	△273.50	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	20,253	10,462	51.1	4,328.07
2022年3月期	20,782	10,104	48.1	4,202.56

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 10,347百万円 2022年3月期 9,991百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2023年3月期	—	10.00	—		
2023年3月期（予想）				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	11.8	△400	—	△300	—	△400	—	△167.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	2,552,946株	2022年3月期	2,552,946株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	162,265株	2022年3月期	175,555株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	2,386,094株	2022年3月期3Q	2,374,293株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[内外環境]

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長引くコロナ禍からの正常化への動きが見られる中、インバウンド需要が戻りはじめ、個人消費も緩やかな回復傾向が継続しました。

一方で、原材料・資源価格の高騰に円安も加わり、物価が広範囲かつ大幅に上昇しました。ウクライナ侵攻の長期化もあり、依然として不透明感が漂う状況となりました。

[主要施策]

当社グループでは、人々の暮らしに寄り添う商品をラインアップし、複数の生活用品カテゴリーによる事業ポートフォリオの最適化に取り組んでおりますが、長期に亘るコロナ禍が当社にもたらしたものは、2期連続赤字という重大な経営課題でした。

このため、足元の赤字縮減を図るべく、Withコロナの状況においても、着実に利益を上げられる事業構造の見直し・強化策として、OEM事業においては、サプライチェーン全般におけるローコスト・オペレーションの推進、ブランド事業においては、市場動向に合わせた店舗網の削減など、コスト構造の抜本的な見直しによる採算性向上に注力してまいりました。

また、持続的・安定的な成長を取り戻すために、不採算事業の見直しを推し進め、業績回復が見込めない事業については、引き続き事業の統廃合を含む抜本的な構造改革を実現してまいります。

コロナ禍を経て見えてきた、以下の5つの成長ドライバーについては、引き続き、中長期的な注力分野として取り組んでまいります。

- ①EC事業の更なる強化
- ②海外現地拠点を活用した海外ビジネスの一層の拡大発展
- ③サプライチェーンコントロールの重要性
- ④新規ブランド開拓による取扱い商品カテゴリーの拡充
- ⑤サステナビリティへの取り組み

[連結業績]

当第3四半期連結累計期間は、長引くコロナ禍からの正常化への動きが見られる中、インバウンド需要が戻りはじめ、個人消費も緩やかな回復傾向が継続しました。

こうした状況下、OEM事業における売上高は、家具家庭用品事業セグメントおよび服飾雑貨事業セグメントの売り上げが伸長したことを主因に、前年同期比増加しました。ブランド事業においても、巣ごもり需要の減退により売り上げが減少した家具家庭用品事業セグメントのネットショップ事業を除いて、前年同期を上回る売上高となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、前年同期比18.0%増加の286億9千9百万円となりました。利益面につきましては、売上高の増加により、売上総利益は前年同期比6億2千9百万円増加の68億3千万円となりました。販管費については、ブランド事業において店舗戦略見直しによる経費削減が進んだ一方、事業ポートフォリオ見直しに係る構造改革費用等を計上したことから、前年同期比で7千7百万円増加しました。営業利益、経常利益につきましては、販管費の増加や急激な円安進行による為替差損の計上があったものの、売上総利益の増加を主因に、前年同期比でそれぞれ5億5千2百万円、4億7百万円改善し、1億2千7百万円の損失、8千8百万円の損失となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比4億7千6百万円改善の1億7千2百万円の損失となりました。

[セグメント別業績]

(家具家庭用品事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比12.7%増加の165億6千5百万円となりました。OEM事業では、国内外での消費活動の回復を受けて、受注状況が改善し、前年同期比で増加しました。ブランド事業においては、ドイツのテーブルウェアブランド「Villeroy&Boch(ビレロイアンドボッホ)」等を取扱う(株)エッセンコーポレーションの売り上げが前年同期比で増加しましたが、巣ごもり需要の減退により「MINT(ミント)」などの家具・インテリアのネットショップの売り上げが、前年同期比で減少しました。

セグメント利益については、原材料価格や物流コスト上昇に加えて円安の影響もあり、前年同期比4千万円減少の5億5千3百万円となりました。

(服飾雑貨事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比39.4%増加の82億5百万円となりました。OEM事業では、移動・行動制限の緩和が世界的に進んだことから、トラベル商材の需要が回復傾向にあり、前年同期比で増加しました。ブランド事業においては、消費活動の回復や店舗集約による販売力向上等の効果もあり、ドイツのコンフォートシューズブランド「BIRKENSTOCK(ビルケンシュトック)」等を販売する(株)ベネクシーおよびベルギーのプレミアム・カジュアルバッグブランド「Kipling(キプリング)」を販売する(株)L&Sコーポレーションの売り上げが、前年同期比で増加しました。

セグメント利益については、売上高の増加およびブランド事業における店舗集約等の経費削減施策により、前年同期比で7億4千7百万円増加と大きく改善し、2億4千6百万円の黒字に転じました。

(家電事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比5.7%増加の27億4百万円となりました。OEM事業では、受注状況が伸び悩み、前年同期比で微減となりました。ブランド事業においては、理美容家電・調理家電などを取扱う(株)ゼリックコーポレーションの売り上げが、海外向け調理家電が堅調に推移したことを主因として、前年同期比で増加しました。

セグメント利益については、原材料価格の高騰や受注減にともなう原価率の上昇もあり、前年同期比1億2千9百万円減少の3億8千2百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億2千9百万円減少の202億5千3百万円となりました。

主な資産の変動は、「売掛金」が7億1千9百万円増加した一方、「現金及び預金」が11億1千4百万円減少しております。

主な負債の変動は、「短期借入金」「未払金」がそれぞれ6億2千7百万円、1億9千5百万円減少しております。

主な純資産の変動は、「為替換算調整勘定」が5億7千7百万円増加した一方、「利益剰余金」が2億2千万円減少しております。

この結果、自己資本比率は51.1%、1株当たり純資産は4,328円07銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、2022年10月28日付「2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2023年3月期の通期業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日付で別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,599,863	3,485,256
受取手形	26,574	22,630
売掛金	3,859,489	4,578,830
契約資産	333	519
商品及び製品	6,319,136	6,450,926
仕掛品	36,223	42,389
原材料及び貯蔵品	178,078	178,665
前渡金	159,371	118,048
前払費用	158,599	147,842
その他	376,437	280,803
貸倒引当金	△6,936	△8,848
流動資産合計	15,707,171	15,297,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,074,680	1,038,500
機械装置及び運搬具(純額)	126,561	149,789
工具、器具及び備品(純額)	148,578	163,009
土地	561,367	561,367
リース資産(純額)	16,851	8,961
建設仮勘定	31,374	4,869
その他	81,895	67,711
有形固定資産合計	2,041,310	1,994,210
無形固定資産		
投資その他の資産	546,712	404,875
投資有価証券	1,726,108	1,881,596
長期貸付金	10,303	9,605
繰延税金資産	53,611	58,728
その他	741,916	650,565
貸倒引当金	△44,553	△43,093
投資その他の資産合計	2,487,387	2,557,402
固定資産合計	5,075,409	4,956,488
資産合計	20,782,581	20,253,553

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,761,810	1,780,591
短期借入金	2,873,339	2,245,756
1年内返済予定の長期借入金	50,000	—
リース債務	46,326	17,923
未払金	842,719	647,532
未払費用	398,890	327,185
未払法人税等	55,572	83,777
契約負債	66,432	57,785
未払消費税等	146,659	90,118
賞与引当金	215,129	257,173
役員賞与引当金	266	692
その他	229,035	320,993
流動負債合計	6,686,180	5,829,530
固定負債		
社債	1,950,000	1,950,000
長期借入金	1,200,000	1,200,000
リース債務	48,106	55,148
繰延税金負債	210,474	173,535
再評価に係る繰延税金負債	48,964	48,964
役員退職慰労引当金	61,652	62,549
退職給付に係る負債	251,476	254,913
資産除去債務	206,005	200,717
その他	15,407	15,407
固定負債合計	3,992,086	3,961,237
負債合計	10,678,267	9,790,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,914	1,000,914
資本剰余金	697,438	692,170
利益剰余金	7,747,107	7,526,888
自己株式	△348,468	△322,082
株主資本合計	9,096,992	8,897,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	646,410	749,809
繰延ヘッジ損益	42,778	△82,610
土地再評価差額金	110,945	110,945
為替換算調整勘定	93,995	671,004
その他の包括利益累計額合計	894,130	1,449,149
新株予約権	73,705	72,301
非支配株主持分	39,484	43,442
純資産合計	10,104,313	10,462,785
負債純資産合計	20,782,581	20,253,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	24,321,321	28,699,120
売上原価	18,120,563	21,868,521
売上総利益	6,200,757	6,830,599
販売費及び一般管理費		
販売費	1,572,803	1,543,335
一般管理費	5,308,283	5,415,030
販売費及び一般管理費合計	6,881,086	6,958,366
営業損失(△)	△680,328	△127,767
営業外収益		
受取利息	12,302	15,278
受取配当金	48,961	45,675
為替差益	108,384	—
デリバティブ評価益	15	—
助成金収入	33,270	23,708
その他	11,306	14,957
営業外収益合計	214,242	99,620
営業外費用		
支払利息	27,492	27,901
為替差損	—	29,339
デリバティブ評価損	301	—
その他	1,951	3,194
営業外費用合計	29,744	60,435
経常損失(△)	△495,831	△88,582
特別利益		
固定資産売却益	644	1,266
投資有価証券売却益	4,081	33,003
特別利益合計	4,725	34,269
特別損失		
固定資産除却損	1,467	1,700
固定資産売却損	4,939	474
投資有価証券売却損	2,258	—
特別損失合計	8,665	2,174
税金等調整前四半期純損失(△)	△499,771	△56,487
法人税、住民税及び事業税	127,598	143,398
法人税等調整額	18,842	△31,299
法人税等合計	146,440	112,098
四半期純損失(△)	△646,212	△168,586
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,147	3,958
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△649,359	△172,544

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純損失(△)	△646,212	△168,586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△470,328	103,398
繰延ヘッジ損益	△46,562	△125,389
為替換算調整勘定	233,202	577,009
その他の包括利益合計	△283,687	555,018
四半期包括利益	△929,900	386,432
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△933,047	382,474
非支配株主に係る四半期包括利益	3,147	3,958

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

当該変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具家庭用品 事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
日本	9,669,984	5,215,194	1,591,603	16,476,782	957,728	17,434,510	—	17,434,510
中国	4,001,412	394,792	396,655	4,792,860	218,066	5,010,926	—	5,010,926
欧州	458,682	34,039	114,012	606,734	6,240	612,974	—	612,974
その他	566,366	240,724	455,528	1,262,619	290	1,262,909	—	1,262,909
顧客との契約から生じる収益	14,696,446	5,884,750	2,557,799	23,138,996	1,182,324	24,321,321	—	24,321,321
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	14,696,446	5,884,750	2,557,799	23,138,996	1,182,324	24,321,321	—	24,321,321
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	9,817	—	9,817	58,955	68,773	△68,773	—
計	14,696,446	5,894,568	2,557,799	23,148,814	1,241,280	24,390,094	△68,773	24,321,321
セグメント利益又は 損失(△)	593,916	△501,380	△253,410	△160,874	48,896	△111,978	△568,350	△680,328

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△568,350千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4 売上高は顧客の仕向地を基礎とし、国または地域に分類しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具家庭用品 事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
日本	11,527,141	6,822,858	2,049,132	20,399,132	1,016,410	21,415,542	—	21,415,542
中国	3,877,112	436,842	186,724	4,500,680	186,164	4,686,844	—	4,686,844
欧州	410,149	170,607	13,969	594,726	2,958	597,685	—	597,685
その他	750,818	775,676	454,766	1,981,261	720	1,981,981	—	1,981,981
顧客との契約から生じる収益	16,565,221	8,205,985	2,704,593	27,475,801	1,206,253	28,682,054	—	28,682,054
その他の収益	—	—	—	—	17,065	17,065	—	17,065
外部顧客への売上高	16,565,221	8,205,985	2,704,593	27,475,801	1,223,318	28,699,120	—	28,699,120
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	30	14	44	33,042	33,087	△33,087	—
計	16,565,221	8,206,015	2,704,608	27,475,845	1,256,361	28,732,207	△33,087	28,699,120
セグメント利益又は 損失(△)	553,344	246,598	△382,930	417,013	88,312	505,325	△633,092	△127,767

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△633,092千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4 売上高は顧客の仕向地を基礎とし、国または地域に分類しております。